

リーグ戦個別戦績一覧

+++++ 【第九戦】 +++++

日時 平成19年10月21日午前10時7分キックオフ（快晴）

会場 萩の台グラウンド（天然芝＋土）

相手 A. F. C

結果 2－1（1－0、1－1）

得点者 黒田（PK）、緒方、OG

内容 勝てば官軍か?! 残留確定!!～二人の得点王候補?!～

今日の試合に勝利すれば残留が確定するだけに負けられない一戦でした。少し肌寒い中で行われた久々のリーグ戦の相手は、3部から昇格してきたAFC。8月のカップ戦で対戦し0－4くらいで負けたものの、高妻キーパーのバンザイと、相手の強烈なシュートをよけた所に偶然シュートが飛んできてセーブするという好プレー（珍プレー?）のイメージしかなく、情報はほぼゼロ。ただ、相手は12人しかおらず、ベストでは無い模様。一方、県庁は、4勝3敗1分と勝ち越してはいるものの、2部残留のためには勝利が必須だが、メンバーは多数。しかし、グラウンド状態は、相変わらず凸凹の最悪状態で、トラップ前にボールが跳ねるため、DF陣は特に注意が必要であった。しかし、萩の台グラウンドは、昨年のリーグ戦で、0－1の劣勢を、終了間際の工藤のダイナマイトヘッドと、久保野の自称ループシュート（最後は藤田が押し込む）で逆転勝ちした験のいい所。よって、作戦は特になし。ただ、GK谷之木から、「キーパーに返すときは、ゴールマウスを外す」よう、DF陣に指示があった。

立ち上がり、いつものパターンでいきなり攻め込まれる。グラウンド状態が悪いためかチームの連携が悪く、クリアするも、相手コーナーキックが数回続く苦しい展開。しかし、ここはなんとか踏ん張り、以降は、中盤を制した県庁のペース。そして5分過ぎ、左サイドから緒方がドリブルで2人をおかしエリア内へ侵入したところを、相手DFが痛恨のファウル。このPKを、ダフリ癖のあるエース黒田がドキドキしながらもゴール左隅にきっちり決め、待望の先制点ゲット! 県庁ペースが確実なものになった。

その後も、相手に押し込まれる状態が続いていたが、AFCのサイド攻撃をDF陣が粘り強く対応しクロスを上げさせないなど、全員の必死の守りで相手に得点を許さなかった。単発のスループスも、数的優位を常に守り、ハイオク満タンのCB三井（注：CBはセンターバックではなくサイボーグ<CyBorg>の略）を中心に、体を張ったディフェンスでシュートまで行かせず。20分過ぎくらいから試合が荒れ、両チームにイエローカードが出てもおかしくない状態に・・・でも、ここで威力(?)を發揮したのがHT児玉(好)（注：HTは「重戦車<heavy Tank>」の略）が、ロングボールに突っ込み、相手GKとクラッシュ。GK起き上がれず、試合が中断。しかし、結局相手だけにカードが出て、フェニックスとしては事なきを得た。この後、HT児玉(好)のロベカル直伝のミドルシュートが枠を捕らえるも、GKの鋭い反応で得点ならず。また、谷口がドリブルで抜けだし決定的場面を迎えるも、シュートは芯に当たらず枠外へ。攻勢のまま、前半終了となった。

（交代）後半 中園アウト→久保イン

後半も、中盤で優位に立つ県庁のペース。県庁はしたたかに、フレッシュな選手を次々と投入し、優位を確固たるものに。相手は、中盤でキープできる選手がおらず、体力的にもきつくなり、DFラインを上げてきた。そして10分くらい、スループスに反応した緒方が、右サイドを抜けだし、独走。そのままゴールに突き刺し、勝利を

ぐっと引き寄せる2点目をゲット。その後、カウンターから谷口のヘディングシュートなど惜しい場面が続いたが得点には結びつかなかった。相手も最後の抵抗で前掛かりになり、ミドルシュートが枠を捕らえるも、GK谷之木がパンチングでクリア。また、相手コーナーキックをドンピシャで合わせられるも、またもGK谷之木が反応し、キャッチ。

(交代) 19分 児玉(好)アウト→渡邊イン

(交代) 29分 黒田アウト→牧イン

そして、渡邊を交替で入れた直後の20分過ぎ。ゴールに吸い込まれていくボールを多くの選手が目撃。これは幻影か、、、、いえいえ、実は。。。相手ロングボールを何とか三井が足に当てたボールが、カバーに回っていた久保野の所へ。これを、中央へヘッドで弾くも、なぜかボールはゴールマウスど真ん中へ。これを、GK谷之木が難なくキャッチ、と思いきや、あれっ?いない、。GK谷之木は、カバーのため、サイドへ寄っていたのでした。AFC、労せずして1点ゲット。そして、得点王候補黒田を追いかける久保野も1点ゲット。(ついでに、聞かザルに加えて、「見ザル」の称号もゲット。) 逆転ホームランを打たれた投手のように崩れ落ちる久保野、試合前の「キーパーに返すときは、ゴールマウスを外す」指示を思い出すも、思い出した時には既に遅し。しかし、逆に県庁の緊張感が一気に高まり、猛攻の相手に対し、最後まで集中力を切らさずに全員の守りで得点を与えずこのままタイムアップ。2部残留をほぼ決定づける勝利となった。

全体的には、点差以上の快勝でした。試合前から、この一戦に掛ける意気込みが、高妻監督のスーツでの登場(Jリーグ並)と、多くのメンバー参加に現れていたと思います。試合中は、立ち上がりの劣勢を耐えたこと、相手スローイン時のマークが的確だったこと、中盤を制したこと、が勝利の要因だと思います。ベンチからも、時に怒号が飛び(内容は不明)、選手の背中を力強く押してくれました。

これで、残留争いのプレッシャーから解放され、久々の勝利を手にして、いい雰囲気、最終節に望めます。試合後、一人、体操座りでうなだれる久保野。そこに、久保野の従兄弟(サンターナ所属)がひょっこり現れ、「また、点入れちよったね～」と、とどめの一撃。最終節での奮起が期待されます。

これで今期、5勝3敗1分。入れ替え戦の最後の枠を脱出し2部残留が確定しました。最終戦を残しての残留決定は初めてのようです。試合に参加された方お疲れ様でした。次節最終戦です。人数は少ないようですが、Kさんの得点王の可能性があるので、勝利目指してがんばりましょう!!

参加者

<先発>

FW(黒田、緒方)

MF(赤野、児玉(好)、渡部、谷口)

DF(工藤、三井、中園、久保野)

GK(谷之木)

<交代>

DF(久保) 後半開始(中園に代わって出場)

DF(藤田) 後半7分(工藤に代わって出場)

DF(牧) 後半29分(黒田に代わって出場)

監督 杉田、稲用

応援 戸田しゃん